

# 英語教育改善プラン推進事業 第1回ワーキング会議



中学校分科会

令和3年6月23日(水)  
山梨県総合教育センター  
義務教育課 河西 弘之

## よく言われること

自戒の念を込めて  
自分も含めて

中学校の英語が・・・

中学校の英語をどうにかしなきゃ・・・

中学校の先生は英語の免許もっているのに・・・

## 中学校の英語の授業が変わるとき

※変わってきている部分もあります。英語力・指導力が高い先生もいます。でも、まだまだ授業改善が必要だと思われれます。

小学校の学びを生かし、高等学校の学びにつなげる。

※小中高連携の中心・他校種では何をどのように学習しているか。

学習指導要領や学習到達目標CAN-DOリストで学びの道筋を共有。

中学校の英語の先生が自信をもって、授業をおこないたい。

# 中学校の授業が変わるとき

授業改善の  
ポイント

## ○授業は英語で行うことを基本とする。

= 英語でやり取りをする（意味内容や情報を伝え合う）  
教員－ALT 教員－生徒 生徒－生徒

## ・言語活動が授業の中心になっていない。

言語活動：知識及び技能を活用して、思考力・判断力・  
表現力等を育成するために取り組むもの

= コミュニケーションを行う「目的・場面・状況」が  
設定されていない。（何のために？誰に対して？等）  
「思考・判断・表現」が見取れない。

「主体的に学習に取り組む態度」も見取れない。

## ・教科書をただ追う（こなす）授業になっている。

= この授業・単元・学期・学年で、「英語を使って何が  
できればよいか」つまりゴールが設定されていない。

## 中学校の授業が変わるとき

- ・自分が教わってきたように教える。

授業のパターン化、安全運転

授業観察させて  
いただくと...

ex.1 モデルの提示 (T.S. 文法指導 主に形式の確認)

→練習 (W.S.ドリル) →活用 (自己表現・発表型)

活用しながら習得

ex.2 オーラルイントロダクション→単語練習 (フラッシュカード) →教科書本文音読 (choral, read and look up...)

→TF, Q and A

内容理解→必要な情報・概要・要点→発信技能

ex.3 話すこと [発表] (スピーチやプレゼンなど)

必ず英文を書く→暗記する→発表する

即興性・メモ

## 中学校の授業が変わるとき

・今がチャンス

### ①評価が3観点になった

思判表（主体）を評価しないとならない。

定期テスト・通知表・振り返りシート 等

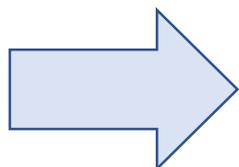
### ②5領域になった（話すことが（やり取り）と（発表）に分かれた）

どう指導・評価するか考える。

### ③教科書が変わった

教科書が厚くなり、どう授業をつくるか考える。

**「目標と指導と評価の一体化」「目標に準拠した評価」について習得する絶好の機会 CAN-DOリストの活用**



話すこと（やりとり）を通して授業改善！

# 中学校の授業が変わるとき

## 第二言語習得（基本編）

### 〈インプット（Input）〉

#### 形式・意味・機能のマッピング

意味のある文脈で、英語の音や綴り、文法等を意識させることが大事（フォーカス・オン・フォーム）

注意を向ける

あれ？聞いたことないぞこれって～っていう意味かな？こんなルールがあるのかな？  
短期記憶でしかない

### 1 気づき（Noticed Input）



### 2 理解（Comprehended Input）

①意味のみ理解

②形式・意味・機能を理解

→仮説形成 こう使えるのかも？

### 3 内在化（Intake）



### 4 統合（Integration）



### 〈アウトプット（Output）〉

↑ インターアクション

フィードバック

理解したインプットを自分自身の中間言語（母語と習得対象言語との中間にある学習過程の言語）へ取り込む。実際に活用する（話したり書いたりする）ことで、中間言語の仮説検証を行う これですく伝わっているかな？

自動化・長期記憶化（時間がかかる）

情報を自動的に処理できるようになり、瞬間的に使いこなせる

#### 形式を意識

学習項目を繰り返し使い自動化が進むよう発話機会を増やすことが重要

#### 仮説検証

フィードバックにより、自分が作ったルールを検証する機会になる

# 中学校の授業が変わるとき

○太田洋教授へ（事前送付資料）

話すこと（やりとり）の指導と評価についての悩み・質問

## 【昭和町立押原中学校】

- ・ 中学1年生でフリートークは難しいです。1学期の段階でできるSmall Talkの方法を教えてくださいたいです。
- ・ パフォーマン課題としてALTとのやり取りを設定しましたが、既習の文法事項と状況設定がうまくリンクしませんでした……。やり取りの場面設定はどのようにすればよいでしょうか。
- ・ 今の段階である程度会話ができています（中2）。差はあるものの、1分半程度は盛り上がっています。また、Why? - Because~.など第2の会話へと発展させられており、QA (closed Q) を繰り返すことも減ってきています。そこで次のレベルに発展させるために、何を目指し、そのために何をすべきか考えていきたいです。
- ・ 教師と生徒1人によるデモンストレーションを示し、一度生徒同士ペアでやり取りをさせ、良い点や課題点をフィードバックして、ペアを変えて2度目のやり取りをさせることを基本のスタイルとして活動させようとしています。1分間で行っているのですが、生徒のつまずきや良い点を見つけることが難しいと感じています。気づきのための視点やよいフィードバックの仕方があれば、教えてくださいたいです。

## 【北杜市立長坂中学校】

- ・ 会話を継続させるために、相づちは積極的にするように指導していますが、相手が話した内容に合わせた相づちや質問ができません。
- ・ 生徒が初めて使った表現などを書きためていくことは必要ですか。
- ・ 生徒が尋ねてきた未習語や文法は黒板に書いた方が良いか、それとも口頭で教えるべきですか。
- ・ やりとりを評価する上で、どのような評価基準（ルーブリック）を立てたらいいですか。

<うまかったこと>

- ・ 単元の中で、前半と後半に同じお題でのスモールトークを実施したら、2回目には1回目より、スラスラ言えている生徒が多かったです。

# 中学校の授業が変わるとき

○太田洋教授へ（事前送付資料）

話すこと（やりとり）の指導と評価についての悩み・質問

## 【河口湖南組合立河口湖南中学校】

- ・スモールトークを週1か2回で行っています。テーマを告げて 繋ぎ言葉・切り返し質問・相づちを口頭練習した後、場合によっては使えるフレーズを口頭練習した後1分間、隣と話します。終わったあとは1分間英語で話せたか、フレーズは使えたかを生徒に確認します。

質問

- ・トピックを与えた後、口頭練習するのはよいですか。（即興性は失われないか）
- ・1分間の中で生徒の活動の見取りが難しく、自己評価のみ、会話が続けられたかのみ振り返りになっています。改善方法がありますか？
- ・トピックは「週末にしたこと」「今日の予定」や「その週に学習したこと」が多いが、繰り返し同じでもよいか。毎回変えるべきですか。

## 【甲府市立南西中学校】

- ・こういったスモールステップを踏ませながら、やり取りの力をつけさせていけばいいのか教えてほしいです。1、2、3年生それぞれの段階で、どんなやり取りの力をつけたらよいか、整理したい。
- ・スモールトークを行ったあと、簡単な記録（トピック・リアクションなど）をつけさせていました。時間がないときは、できませんでしたが、どう思われますか？
- ・ペアで、日本語で1分間話しをさせたあと、英語での会話をはじめさせることがあります。（話す内容を想記させるため）どのように思われますか？
- ・ペアによって（男女ペア・ペアでレベル差が大きい・両者とも話せないなど）は、全く会話が続かない、もしくは始まらない場合があります。ペアリングにおいて、なにか工夫をされている、実践がありましたら、教えてください。

# 中学校の授業が変わるとき

## ○パフォーマンステスト（評価）

### R2年度研究指定校の実践より どう考えますか？

（日本に来たばかりの）**ALT** の〇〇先生は、日本の中学生がどんな人物に興味を持っているのか知っています。（メモを使いながら）、自分が好きな人物について、〇〇先生と英語でやり取り（会話）をしてください。〇〇先生からの質問に答えたり、〇〇先生に質問したりするなど、話題が深まるように、会話を継続させてください。

※メモは、実態に応じて設定する。英単語・熟語○語など。文はダメ。使わないのがベスト、

#### ○ルーブリック例

	知識・技能	思考・判断・表現（※2）	主体的に学習に取り組む態度
a	三人称単数現在形（肯定文・疑問文・否定文） <u>など</u> において、誤りのない正しい英文で話すことができる。	相手からの質問に、新たな情報を加えながら答えたりするだけでなく、話題に合った質問を <b>ALT</b> にしたりして、会話を継続させている。	相手からの質問に新たな情報を加えながら答えたりするだけでなく、話題に合った質問を <b>ALT</b> にしたりして、会話を継続させようとしている。
b	三人称単数現在形（肯定文・疑問文・否定文） <u>など</u> において、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文を用いて話すことができる。（※1）	相手からの質問に、新たな情報を加えながら答えて、会話を継続させている。	相手からの質問に、新たな情報を加えながら答えて、会話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

山田聡志 教科調査官のお話

中学校の授業が変わるとき

「でも10年かかる」「でも今がチャンス」  
国語の授業が変わった。何でも「読み取り」の授業からの改善

Thank you for your attention.